

25	月	夏期講習スタート
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	休校
1	月	
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	休校
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	やまの日
12	金	中3生V模試締め切り日
13	土	休校
14	日	休校
15	月	休校
16	火	休校
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	休校
22	月	
23	火	夏期講習終了
24	水	通常授業スタート 8月 第19週
25	木	
26	金	
27	土	岡山県公開模試
28	日	休校 岡山V模試(倉敷高校・明誠学院)
29	月	
30	火	
31	水	9月 第20週

量を質に変える夏期講習

ヒーローズ **Hero's** おかやま

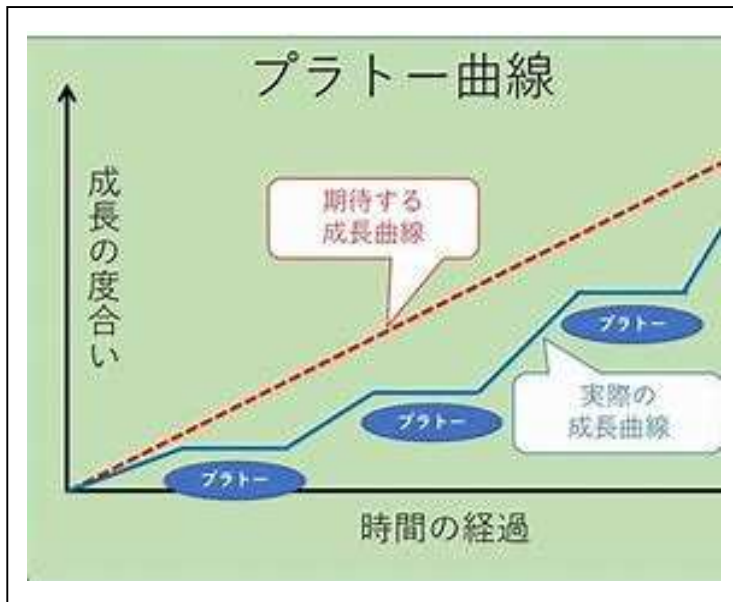


2022年7-8月号

ヒーローズの塾生のみなさん、保護様方、こんにちは。
 専門家の言う通り感染者数がまた増えてきました。どうも夏になると増えるようです。昨年もそう。東京五輪の開催を巡り世論が割れていたころ。気温の上昇とともに冷房稼働で換気が十分でないことによるようです。(渡航制限緩和も大きい。)今年のコロナ禍は感染対策を十分にとりながら個々の行動は従来通りのようです。我々も感染対策には徹底していきます。万が一、保健所より濃厚接触者などに特定されると自宅待機となり通塾もできません。その際は別途、対応しますので個別にお申し出ください。

夏期講習期間中の通常授業はありません。

通常授業は7月22日で終了し夏期講習となります。16日(土)から庭瀬校ではプレ夏期講習として先行して実施。3教場とも23日(土)



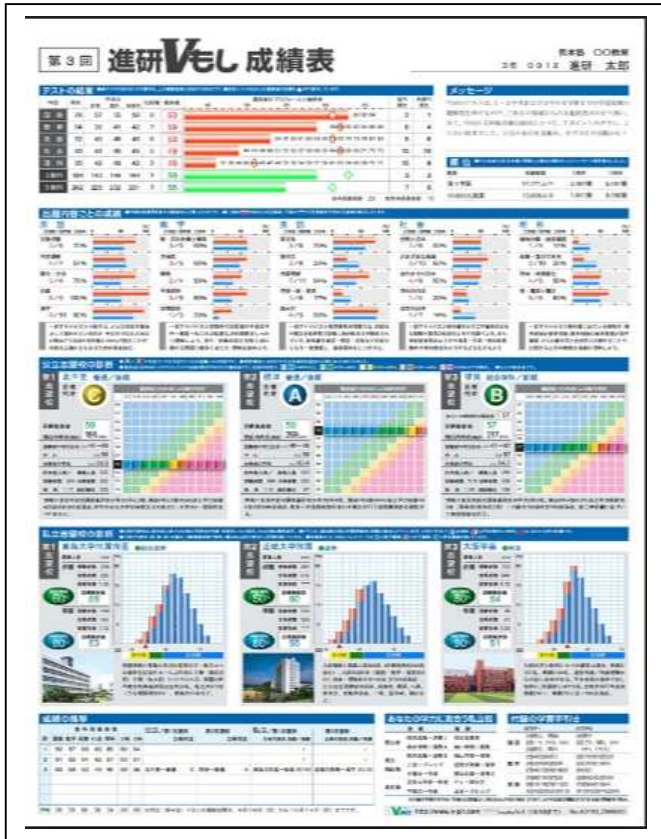
から夏期講習となります。講習の考え方は“量は質に転化する。”ステージ理論です。**1年で1500時間取り組むと次のステージに上がる、というステージ理論。**1500時間というと平日3時間×5日で15時間。土日に5時間×2日で10時間。1週間で25時間です。年52週なので52×25で1300時間。あと200時間足りません。その200時間を夏休みや冬休みで補います。難関資格や難関大学入試な

どはそのレベルです。**最近では“プラトー”と呼ばれます。**勉強やスポーツなど一定のレベルまでは常に成長を感じながら楽しく進められます。それがある程度の時期になると努力しているにも関わらず成長を実感できず結果がでない時期が

あります。それがステージ。(踊り場)プラトー(高原)現象です。ステージに上がると、基礎に立ち返ること、そして努力を続けること、この時期を抜けると一気に成長が加速します。

中3生には8月28日(日)の内申点総合判定ができる岡山県V模試を！

今年の夏のおススメはV模試(大阪進研)です。従来の岡山県公開模試(学隆社)と違い内申点の可否判定がわかるのが強み



です。昨今、の高校入試は内申点(評定点)の評価が学力よりも重視される傾向があります。一昨年、K南高校受験を志望。学力的には申し分ないと思っていましたがなんと内申点(評定点)が28点。学校側が受験を回避した事例がありました。いかにして学力をつけさせるのか・・・が塾としての責任ですが内申点が高いと学力に見合う受験も厳しいのが実情で複雑な思いをしました。そもそも模試による志望校判定の目的は『学力差が大きすぎる相手』と戦わないことの一つの指標です。そのためには取り組む課題も学力にあう問題です。できない、わからない、と云いながら繰り返し反復したが、3日後にはもうできないという現象になるのは『学力差が大きすぎる相手』という判断。つまり取り組んでいる問題そのものがあっていないわけです。一律に配布される夏の学校課題のワークが1人1人の生徒さんにあっているのか甚だ疑問です。(最近ではワークも2つに分けているようです)勉強は問題のレベルの調整が不可欠です。一方で内申点はどうしようもありません。学校生活の評価になり第3者が判断できる指標がどうしても必要になってきます。この夏はV模試にチャレンジしてみてください。会場は倉敷高校(JR山陽線中

庄駅すぐ)と明誠学院(岡山市北区)で行います。中3生には上記の他、内申点判定の見本を同封しています。すでに申込み済みの岡山県公開模試からの変更も可能です。個別にお申し出ください。8月12日(金)まで。

夏期講習中は日曜日と8月13~16日は休校です。

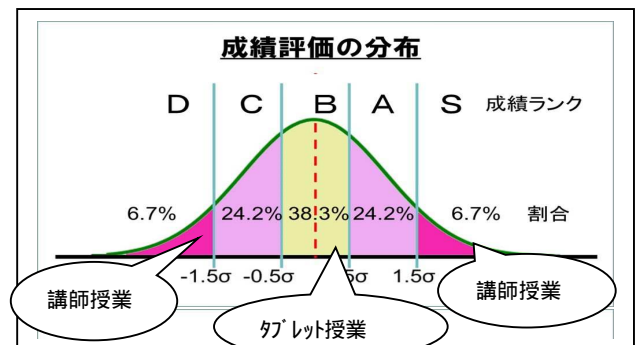
自習スペースの利用は平日の13時から21時まで(土曜のみ13時~17時まで)です。休校日は完全クローズとなります。

8月通常授業は8月24日の水曜から開始します。

8月第1週授業は8月24日(水)から開始です。9月からの2学期は毎水曜日が週の起算日になります。

妹尾・茶屋町校は2学期より上位層は講師授業をお勧めします。

中学生の期末考査の結果が出ました。妹尾・茶屋町校の中学生の中位層(AからC層)には1コマ50分間の演習量増をねらいとして昨年冬よりタブレットを導入。導入によりタブレット(単元演習)と計算・英語単語(課題の直し)との同時進行が可能となり、一気に学習の生産性が向上しました。課題の数学計算で満点~90点水準の生徒さんは軒並み、数学の点数がアップしています。課題は英語です。予習になるとタブレット授業では単語など連語はわからないシーンがあり英語の授業には学校教科者持参など改善が必要です。また今回の中3生夏講習



で難関の生徒さんは2学期以降、上位層としての講師授業をお勧めします。(従来のタブレット授業でも可、任意です。)